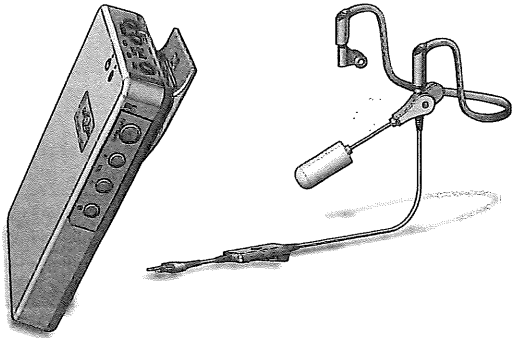


高騒音対応ヘッドセットマイク R-Talk HS310

保証規定

取扱説明書



セット内容：はじめにご確認下さい。

- ①本体装置、動作確認用電池(単四×2本)
取扱説明書および保証書(本紙)
- ②専用ヘッドセット、ウインドスクリーン：装着済、
イヤープース(M：装着済、S/L：同梱)、保証書
注)②はセット購入時に付属

正しく快適にご利用いただくために、必ずご使用前に本書をよくお読み下さい。
デザイン、仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。
記載の社名および製品名は各社の商標又は登録商標です。

NTTアドバンステクノロジー株式会社

保証書

WARRANTY CARD

製品名 Product	R-Talk HS310B
製造番号 Serial No.	
フリガナ ご芳名 Customer	
ご住所 Address	〒 TEL: () - -

NTTアドバンステクノロジー株式会社

〒212-0014
神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー
TEL: 0120-057-601, FAX: 0120-057-602, e-mail: realtalk@ml.ntt-at.co.jp
URL: http://www.ntt-at.co.jp/product/r-talk/

- 製品の保証期間はご購入後1年間です。保証期間中につきましては次の規定により保証いたします。
 - 1. 保証をお受けになる時には、ご購入年月日が分かる書類(納品書等)をご提示いただく場合がございます。
 - 2. 正常な使用状態において製造上の責任による故障が発生した場合には無償修理をいたします。
 - 3. 次の場合には保証期間中でも保証の対象となりません。
 - A. 添付のマニュアルの記載事項を守らなかったために発生した場合の故障又は損傷
 - B. 改造されたり、不当な修理をされたことに起因する故障又は損傷
 - C. 地震、風水害その他の不測の事態による損傷
 - D. 本保証書のご提示がない場合
 - E. 本保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの
 - 4. 本製品の故障又はその使用上生じた直接、間接の損害につきましては、当社はその責任を負いかねます。
 - 5. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
 - ・保証期間中に修理をお受けになる時には、弊社ユーザーサポートまでお問い合わせの後、本保証書と製品をユーザーサポートにお送り下さい。なお、不具合の状況をあらかじめ簡単な文章にして添付していただきますと、的確なサポートができますのでご協力下さい。
 - ・本保証書は、保証規定に基づいて保証期間の無償修理をお約束するものです。期間経過後の有償修理もお受けしますので、弊社ユーザーサポートまでお問い合わせ下さい。
 - ・弊社への修理品の発送時に発生する送料につきましては、お客様にご負担いただきます。
 - ・修理の際には、データのバックアップは行いません。
- これによって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間終了後の修理、アフターサービスなどについてご不明な点はお買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

①安全にお使いいただくために

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- ⚠ **危険** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 - 乾電池やニッケル水素電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けて下さい。
 - ニッケル水素電池の充電は、指定された充電器を使用して行って下さい。その他の充電条件で充電すると、電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
 - 乾電池やニッケル水素電池は、プラス(+)・マイナス(-)の向きが決まっています。電池の向きを確かめて正しく入れて下さい。間違った向きで入れると、電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - 乾電池やニッケル水素電池を使用する場合は、以下のことを必ず守って下さい。電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・直接はんだ付けしない。
 - ・プラス(+）・マイナス(-)を針金などの金属類で接触させない。
 - ・外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない。
 - ・水や海水に浸けたり、ぬらさない。
 - 乾電池やニッケル水素電池を分解、改造しないで下さい。電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- ⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 - 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐにケーブルを抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、煙が出なくなるのを確認し、お買い求めになった販売店に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。
 - 万一、本商品を落としたり、本体を破損した場合、または、本商品内部に異物や水などがいった場合は、すぐにケーブルを抜き、乾電池やニッケル水素電池を外して、お買い求めになった販売店に修理をご依頼下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
 - 本商品を分解、改造しないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理はお買い求めになった販売店にご依頼下さい(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)。

- ⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 - 医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないで下さい。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
 - はじめから音量を上げすぎないで下さい。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。

②使用上の注意

- ・本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご使用できません。
- ・This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ・ケーブルを抜き差しする際は、無理な力を加えないで下さい。破損や断線の恐れがあります。
- ・マイクアームを曲げる際は、無理な力を加えないで下さい。破損や断線の恐れがあります。
- ・ヘッドセットを保管時や移送の際は、無理な力が掛からないようにして下さい。破損や変形の可能性があります。
- ・完全な防塵防水ではありませんので、粉塵の中や水中での使用、故意に粉塵や水をかけるなどのご使用はお控え下さい。

【注意】この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機の近くで使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

【電波干渉について】本商品は、2.400 ~ 2.4835 GHz の帯域を使用する無線設備を内蔵しています。移動体識別装置の帯域を回避不可で、変調方式は「FH-SS 方式」、干渉距離は 10 m です。本商品にはそれを示す右のマークが貼り付けられています。音声認識のマイクとして使用される場合、電波状況によっては音の途切れ等により認識率が低下する可能性があります。その際は有線接続によりご使用下さい。

Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、使用許諾契約の下で当社にライセンスされています。



③ 本製品の特長と各部の名称

● 100dB の騒音下でもクリアな会話を実現

- ・ 3つのマイクを搭載し、使用者の声と周囲雑音が混在する中から周囲雑音のみを抑圧
- ・ 聞き取りやすいカナル型イヤホンを採用

● 作業しやすい装着性のよいデザイン

- ・ ヘッドセットはヘルメットやメガネと干渉しにくいデザイン
- ・ 本体装置は胸ポケットや腰に装着可能

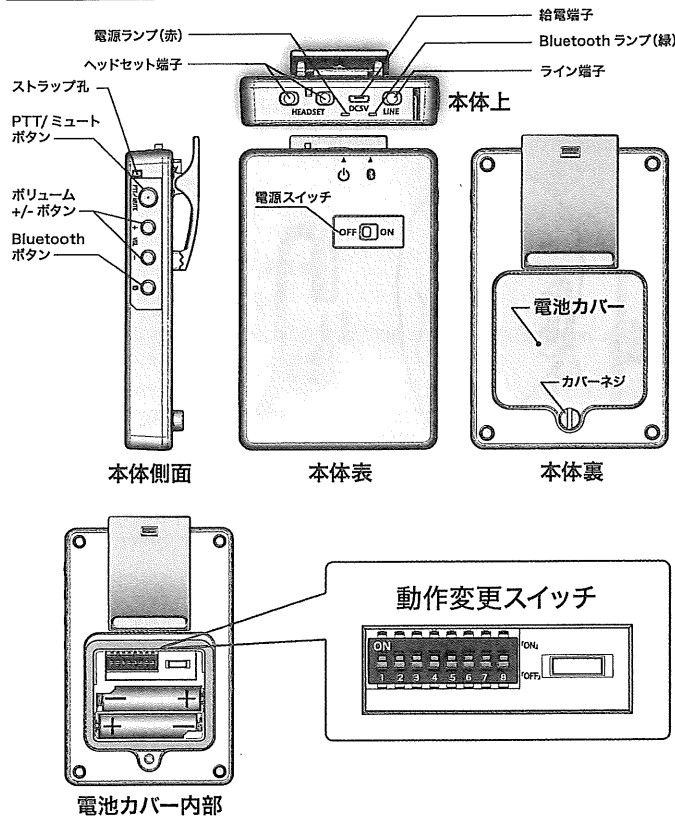
● 通信機器との接続が多彩

- ・ スマートフォン等通信機器との接続は、有線でも Bluetooth でも可能

● 厳しい環境下でも活用可能

- ・ 防塵、防沫機能 (IP54 規格)

○ 本体装置 (R-Talk HS310B)

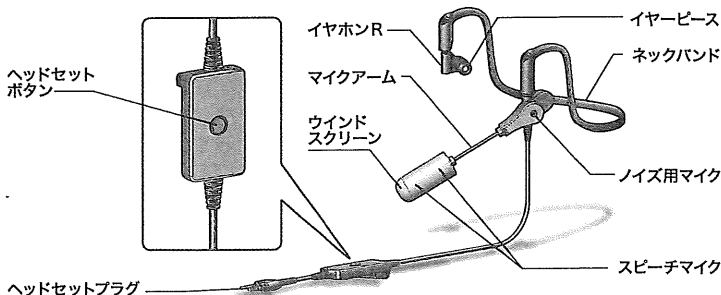


○ 各ボタンの動作

ボタン	動作
PTT/ミュートボタン	Push to Talk (PTT)、ミュート等
ボリューム +/- ボタン	受話音量の変更
Bluetooth ボタン	ペアリング、着信 / 終話等

注) ボタンの詳細は本紙⑥をご確認下さい。

○ 専用ヘッドセット (R-Talk HS310H)



○ ランプが示す状態

ランプの点灯パターン		状態
電源ランプ(赤)	Bluetooth ランプ(緑)	
消灯	消灯	電源 OFF 状態
1秒点灯	消灯	電源 ON 直後、Bluetooth 切断完了時
ゆっくり点滅	消灯	音声非送信状態
点滅	消灯	音声送信状態
ゆっくり交互点滅		Bluetooth 接続待ち状態
すばやく交互点滅		ペアリングモード
同時に1秒点灯		Bluetooth 接続完了時
ゆっくり同時点滅		音声非送信状態 (Bluetooth 接続中)
同時点滅		音声送信状態 (Bluetooth 接続中)

- 注) 点滅 : 0.5 秒点灯、1.5 秒消灯の繰り返し
 ゆっくり点滅 : 1 秒点灯、3 秒消灯の繰り返し
 すばやく交互点滅 : 0.25 秒点灯、0.25 秒消灯の繰り返し
 ゆっくり交互点滅 : 1 秒点灯、1 秒消灯の繰り返し

○ 動作変更スイッチの設定と機能

スイッチ	動作変更スイッチの設定と機能
「1」	本スイッチは初期設定「OFF」の状態でご使用下さい。
「2」	スイッチ2個を使い4段階の送話音量設定ができます。 「OFF」「OFF」: 送話音量1、「OFF」「ON」: 送話音量2
「3」	「ON」「OFF」: 送話音量3、「ON」「ON」: 送話音量4 (最大)
「4」	「ON」の時、周囲音を受話信号にミックスしてイヤホンに出力します。
「5」	接続対象の機器を切り替えることができます。 「OFF」「OFF」: 携帯電話、スマートフォン
「6」	「OFF」「ON」: 端子形状が Type F1 の無線機 「ON」「ON」: 端子形状が上記以外の無線機
「7」	「ON」の時、音声の発話検出により無線機器の Push to Talk (PTT) を自動制御する、Voice Operated Exchange (VOX) 機能が使えます。 「6」が「OFF」の時は本製品は動作しません。
「8」	「OFF」の時、PTT/ミュートボタンを押している間だけ送信モードになります。 「ON」の時、PTT/ミュートボタンを押す毎に、送信モードと受信モードが切り替わります。 「6」が「OFF」または「7」が「ON」の時は本スイッチの設定は無効となります。

- 注1) 出荷時の動作変更スイッチは、「3」のみ ON、その他は OFF になっています。
 注2) 動作変更スイッチの詳細は本書末尾に記載の WEB サイトをご参照ください。
 注3) 動作変更スイッチを変更した場合、電源を OFF にして再度 ON にしてください。

④ 本製品の機能

● Bluetooth 接続機能

- ・ Bluetooth により携帯電話 / スマートフォン等と接続し、外付けマイクとして使用することができます (有線接続時は使用不可)。

● オートパワーオフ機能 (切り忘れ防止機能)

- ・ Bluetooth 未接続時に、ライン端子に何も接続していない状態で3分以上放置すると内部の電源が自動で切れ、電池の消費を抑えます。

● Push to Talk (PTT) 制御機能

- ・ 本機のヘッドセットボタン及び PTT / ミュートボタンを用いて、無線機器の送受信を制御することができます。

● Voice Operated Exchange (VOX) 機能

- ・ 音声を感じると自動で送信モードになり、音声を感じなくなると、自動で受信モードになります。騒音環境下でも、音声による無線機器の送受信を精度よく制御することができます。

● 周囲音付加機能

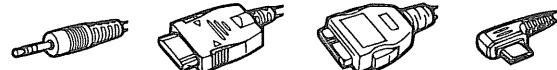
- ・ 危険回避等のために、周囲音をモニタしておく必要がある場合、受話音に周囲音をミックスしたものをイヤホンから出力することができます。

⑤ ご使用の準備

1) 接続機器に応じた接続ケーブル(別売)の用意

- ① 下記に示す接続機器やその端子形状に対応した接続ケーブルを用意し、動作変更スイッチの設定を確認して下さい。

○各種携帯電話/スマートフォンと接続



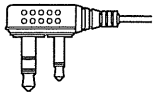
スマートフォン ドコモ、ソフトバンク au 平型

- ・ R-Talk 用携帯電話接続ケーブルセットまたは R-Talk 用スマートフォン接続ケーブルをご用意いただき、接続機種端子に対応したケーブルをご使用下さい。Bluetooth 接続時はケーブルは不要です。
- ※次項で設定する動作変更スイッチは「5」が「OFF」、「6」が「OFF」です。

○無線機と接続

- ・ 無線機本体と接続するプラグ形状に合わせて、R-Talk HS 用無線機接続ケーブル (Type F1 / Type F2 / Type Y / Type I) のいずれかをご用意いただき、ご使用下さい。

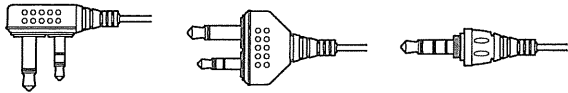
(a) 端子形状が Type F1 の場合



Type F1

- ※次項で設定する動作変更スイッチは「5」が「OFF」、「6」が「ON」です。

(b) 端子形状が Type F2 / Type Y / Type I の場合



Type F2

Type Y

Type I

- ※次項で設定する動作変更スイッチは「5」が「ON」、「6」が「ON」です。

💡ワンポイント

- ・ 動作確認が取れている装置、接続ケーブル、設定については web サイト (<http://www.ntt-at.co.jp/product/r-talk/>) でご確認ください。

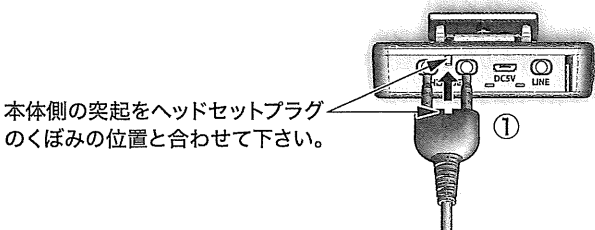
2) カバーを外し電池を入れ、動作変更スイッチを設定

- ① カバーネジを廻して電池カバーを外し、+ の方向を確認して電池をセットして下さい。
- ② 動作変更スイッチを設定して下さい(本紙③を参照して下さい)。
- ③ 電池カバーを戻してカバーネジで固定して下さい。

💡ワンポイント

- ・ カバーネジを手で廻しづらい場合は、コイン等を使用して下さい。
- ・ 給電端子による USB 給電も可能です。

3) ヘッドセットプラグを接続



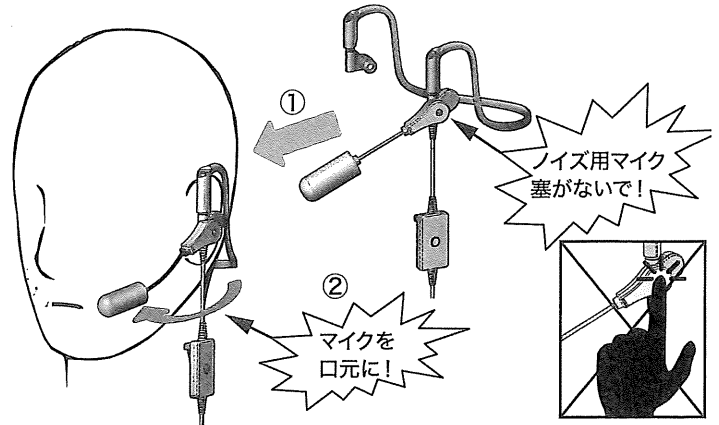
本体側の突起をヘッドセットプラグのくぼみの位置と合わせて下さい。

- ① ヘッドセットプラグを本体上のヘッドセット端子の突起の方向と合わせ押し込んで下さい。

stop お願い

- ・ プラグを抜く際は、ケーブルを引っ張らずにプラグ本体を持って抜いて下さい。

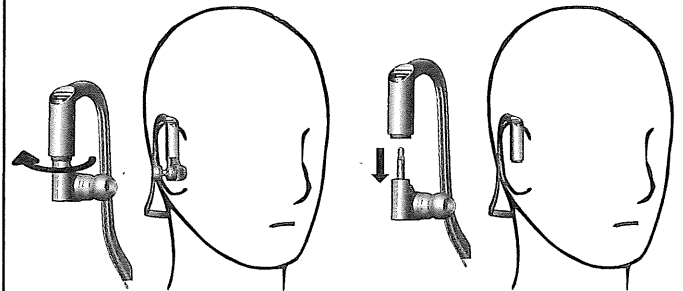
4) ヘッドセットを装着



- ① ネックバンドを少し開いて後ろから頭に合わせ、イヤークラスを耳に入れます。次にネックバンドを耳の収まりがよい位置に調整し、ヘッドセットを固定して下さい。
- ② マイクアームを曲げ、マイクを口元の位置に合わせて調整して下さい。

💡ワンポイント

- ・ ウィンドスクリーンが視界を遮る場合や、屋内での使用の場合、ウィンドスクリーンは取り外して使用することができます。取り外したウィンドスクリーンは無くさないように保管して下さい。
- ・ 周囲の音を確認したい場合には、イヤホンRを (a) 回転させて耳から外すか、(b) ネックバンドから取り外して使用することができます。



(a) イヤホン R を回転させ耳から外す場合

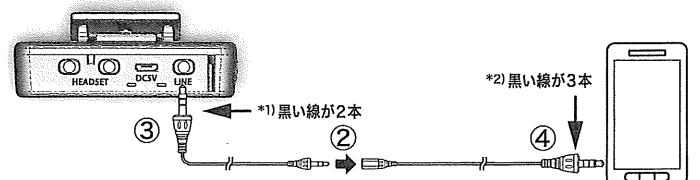
(b) イヤホン R をネックバンドから取り外す場合

stop お願い

- ・ ノイズ用マイクの穴は指やヘルメットのバンド等で塞がないで下さい。雑音低減の効果が得られなくなることがあります。

⑥ 通信機器と接続して使用

○携帯電話 / スマートフォンとケーブルで接続

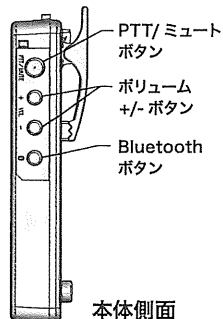


- ① 本製品の電源を入れます。
- ② 本紙⑤で準備したケーブルの 2.5mm 3 極プラグを各種携帯電話 / スマートフォン接続ケーブルに押し込んで下さい。
- ③ 本製品に接続ケーブルの 3.5mm 3 極プラグ*1) を押し込んで下さい。
- ④ スマートフォンに接続ケーブルの 3.5mm 4 極プラグ*2) (携帯電話の場合は、接続機種に対応した端子) を押し込んで下さい。
- ⑤ 携帯電話 / スマートフォンでダイヤルして発信し通話します。または、携帯電話 / スマートフォンで着信し通話します。

💡ワンポイント

- ・ ヘッドセットボタンを押すとマイクミュートが設定され、再度押すと解除されます。
- ・ ヘッドセットボタンは本体の PTT / ミュートボタンで代用できます。
- ・ 着信 / 終話はスマートフォン側で行なって下さい。

○携帯電話 / スマートフォンとBluetoothで接続

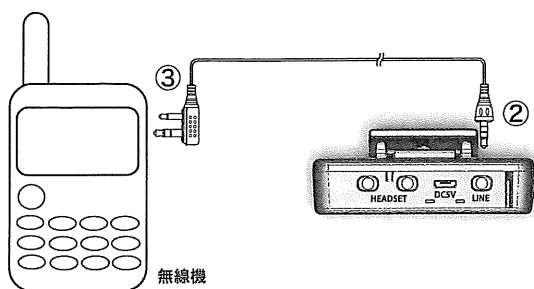


- ①本製品の電源を入れます。
- ②Bluetooth ボタンを長押し(3秒)して、ランプがすばやく交互点滅することを確認して下さい。
- ③スマートフォンでペアリング操作を行ない、Bluetooth 機器名「R-Talk HS310」を選択して下さい。
- ④電源ランプ(赤)と Bluetooth ランプ(緑)が同時点滅に変わったことを確認して下さい。
- ⑤携帯電話 / スマートフォンでダイヤルして通話します。または、Bluetooth ボタンを押して着信し、通話します。

ワンポイント

- ・ペアリング済みの機器は電源 ON 時に自動で接続します。
- ・ヘッドセットボタンを押すとマイクミュートが設定され、再度押すと解除されます。
- ・ヘッドセットボタンは本体の PTT / ミュートボタンで代用できます。
- ・通話中に Bluetooth ボタンを押すと、終話できます。

○無線機とケーブルで接続



- ①本製品の電源を入れます。
- ②本製品に本紙⑤で準備した無線機接続ケーブルの 3.5mm 4 極プラグを挿し込んで下さい。
- ③無線機に無線機接続ケーブルのプラグ (Type F1/Type F2/Type Y/Type I) を挿し込んで下さい。
- ④無線機で外付けマイクスピーカを使用する場合と同様に通話します。

ワンポイント

- ・ヘッドセットボタンを押すと無線機の送信・受信を操作できます。
- ・ヘッドセットボタンの機能は、動作変更スイッチの「8」で設定できます。本紙⑥を参照して下さい。
- ・ヘッドセットボタンは本体の PTT / ミュートボタンで代用できます。

⑦故障かなと思ったら

お問い合わせの前に、下記の確認をお願いします。

●出力される音声信号の雑音を抑圧されていない

- ・ヘッドセット左耳のノイズ用マイクの穴が塞がっている可能性があります。ノイズ用マイクは指やヘルメットのバンド、テープ等で塞がないで下さい。

●相手側で声が聞きとりづらい

- ・マイクが口元から離れている可能性があります。マイクアームを曲げ、マイクを口元の位置に合わせて調整して下さい。
- ・それでも改善しない場合は、本紙③の動作変更スイッチの設定と機能を参照の上、「2」「3」で送話音量の設定を行なって下さい。

●電源スイッチが ON になっても使えない

- ・オートパワーオフ機能が働いている可能性があります。電源スイッチを一旦 OFF にして再度 ON にして下さい。
- ・電池残容量が足りない可能性があります。電池を新品と交換して下さい。
- ・給電端子から給電されていない可能性があります。給電側の機器を確認してください。

●有線接続機器で本製品が使用できない

- ・接続機器側が本体装置を認識できていない可能性があります。接続機器のプラグの抜き差しをして下さい。
- ・接続機器に対応するケーブルが異なっている可能性、もしくは動作変更スイッチの設定が誤っている可能性があります。本紙⑥を再確認して下さい。
- ・ケーブルの接続が逆の可能性もあります。本紙⑥を再確認して下さい。

●Bluetooth 機器と接続できない

- ・ライン端子にプラグが接続されていると Bluetooth が使用できません。プラグを抜いてご使用下さい。

⑧仕様

R-Talk HS310B (本体装置)	
■無線方式	Bluetooth HFP1.6/A2DP HD Voice 対応
■スイッチ / ボタン	電源、ペアリング、ミュート / PTT、ボリューム
■ヘッドセット端子	ヘッドセット用φ3.5mm 4極ミニジャック×2
■ライン端子	スマートフォン / 無線機接続用 φ3.5mm 4極ミニジャック
■給電端子	MicroUSB - B (電源用)
■LED	LED×2 (点灯 / 点滅による状態通知)
■防塵防沫	IP54
■規格	VCCI クラス B、無線設備の技術基準適合証明、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定、RoHS 準拠
■外形寸法	73×111×19mm (クリップ部除く)
■重量	約 87g (電池含まず)
■電源	単四電池 ×2 (充電機対応) 動作確認用電池同梱
■付加機能	VOX 機能、周囲音付加機能
■使用条件	温度：-15℃~55℃、湿度：20%~80% (結露しない事) (電池を入れての保存は -5℃~25℃を推奨)

R-Talk HS310H (専用ヘッドセット)	
■マイク	スピーチマイク、ノイズ用マイク、ウインドスクリーン
■イヤホン	カナル型、右側イヤホン取り外し可 イヤピース S/M/L 同梱
■ボタン	ヘッドセットボタン
■プラグ	φ3.5mm 4 極ミニジャック ×2
■ケーブル長	100cm (ヘッドセットボタン含む)
■防塵防沫	IP54
■重量	約 59g
■使用条件	温度：-15℃~55℃、湿度：20%~80% (結露しない事)

○オプション品

R-Talk 用携帯電話接続ケーブルセット (R-Talk 1500、800EX/PC と共用)

R-Talk 用スマートフォン接続ケーブル (R-Talk 1500、800EX/PC と共用)

R-Talk HS 用無線機接続ケーブル Type F1, Type F2, Type Y, Type I

注) オプション品のご購入は、本製品をお買い上げの販売店、または弊社 (下記の連絡先) までお問い合わせ下さい。

最新情報・詳細情報は WEB サイトで
<http://www.ntt-at.co.jp/product/r-talk/>
 スマートフォンはこちらから→



NTTアドバンステクノロジー株式会社

〒212-0014

神奈川県川崎市幸区大宮町 1310

ミュージアム川崎セントラルタワー

TEL : 0120-057-601 FAX : 0120-057-602

e-mail ; realtalk@ml.ntt-at.co.jp

URL : <http://www.ntt-at.co.jp/product/r-talk/>